

堂谷津の里 自然だより

2018年 4月

2018. 4. 1

芽吹き始めた木々の間にコブシやヤマザクラの花が咲いて、待ちに待った春が訪れました。澄みきったウグイスの声、スミレやタンポポの花、ひらひら飛ぶチョウ・・・生命の息吹を感じさせてくれる堂谷津の里の4月です。アカガエルやヒキガエルのオタマジャクシも田んぼで元気に泳いでいます。



コブシ



ヤマザクラ



ウワミズザクラ

4月
木の花



コナラ



クヌギ



ニワトコ



アオキ



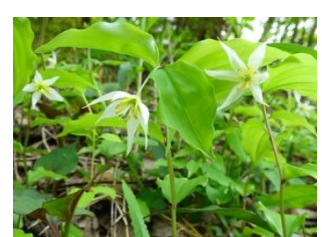
フデリンドウ



ジュウニヒトエ



ホタルカズラ



チゴクリ



白いチョウ



スジグロシロチョウ



黄色いチョウ

キタキチョウ



オス

春のチョウ



メス

ツマキチョウ

<季節メモ>

山菜を食べて春を味わう！

土の上にひょこっと顔を出す「フキノトウ」は、春を告げる山菜として、天ぷらやフキ味噌でいただいたことがある方も多いでしょう。

この他に、タラノメやコゴミ、ワラビ、ゼンマイ、サンショウ、ヨモギ、セリ、ナズナなど里山には数え切れないほどの山菜があります。

昔から、春になったら新芽を摘んで食用にしてきました。独特の風味で季節を味わうことができます。

春の楽しみ方の一つですね。



写真・編集：晝間